

個人事業主の事業承継に関するアンケート調査

住所ラベル貼付位置

平成 21 年 2 月 吉日

みずほ総合研究所株式会社 研究開発部

「個人事業主の事業承継に関するアンケート調査」へのご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、現在、みずほ総合研究所では中小企業庁から委託を受け、個人事業主の皆さまの事業や事業承継の実態について調査を実施しております。現在、中小企業庁では、個人事業主の皆さまを効果的に支援する観点から、事業承継の円滑化を図ることが重要であると考えております。そこで、このたびは個人事業主の皆さまに事業や事業承継の状況についてお伺いしたく「個人事業主の事業承継に関するアンケート調査」を企画させていただきました。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ではございますが、同封のアンケートにご協力下さいますようお願い申し上げます。ご回答いただいた内容は統計的に処理し、ご回答者様の情報が外部に漏れることは一切ございません。なお、今回のアンケートにつきましては、無作為に抽出した個人事業主の皆さまを対象にいたしております。

ご記入に際しましては、アンケート調査票の「アンケート調査票記入上のお願い」をご一読いただき、**2月27日(金)まで**に同封の返信用封筒にてご返送下さいますようお願い申し上げます。

敬具

【本件に関するお問い合わせ】

<調査の趣旨に関するお問い合わせ>

中小企業庁 事業環境部 財務課 大山
(TEL:03-3501-5803)

<調査票の記入方法についてのお問い合わせ>

みずほ総合研究所(株) 研究開発部 大塚、眞鍋
(TEL:03-3591-8722 FAX:03-3591-8777 E-mail:ryoichi.otsuka@mizuho-ri.co.jp)

【調査票記入上のお願い】

- ◆本調査は、中小企業庁が個人事業主の皆さまの実態を把握し、今後の施策の参考にさせていただくためのアンケート調査となります。
- ◆ご回答は事業主ご本人にお願いいたします。
- ◆各質問について、あてはまる選択肢の数字に○、もしくは空欄に回答をご記入下さい。
- ◆調査票は、**2月27日(金)**までに同封の返信用封筒にてご返送下さい。
- ◆主たる事業所のご住所が前頁のラベルと異なる場合、二重線をお引きのうえ訂正下さい（直接ご記入下さい）。

I. 事業主ご自身の事業全般についてお伺いします

問1. 事業主ご自身の現在の状況について、以下の表にご記入下さい(直接ご記入下さい)。

①事業主の年齢	_____ 歳
②事業主の性別	1. 男性 2. 女性
③業歴(事業主となってから現在まで)	約_____ 年

問2. 主たる業種は何ですか。以下よりお答え下さい。複数の事業を営んでいる場合には、「主たる事業」(最も収入の多い事業)の業種をお答え下さい(○は1つ)。

1. 農林業・漁業	6. 不動産取引・代理業	11. 医師・弁護士・税理士等の資格業 (具体的に：_____)
2. 建設業	7. 卸売業	12. その他のサービス業
3. 製造業	8. 小売業	13. それ以外の業種
4. 運輸業	9. 飲食業	
5. 不動産賃貸業	10. 宿泊業	

問3. 現在の従業員数(常用雇用者)は何名ですか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

1. 0人(事業主のみ)	3. 2人	5. 4人	7. 6~10人	9. 21人以上
2. 1人	4. 3人	6. 5人	8. 11~20人	

問4. 納税申告の方式は、青色申告・白色申告のどちらですか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。
(確定申告を行う必要がない方でも、青色申告の届け出を提出されている場合は青色申告とお答え下さい)。

1. 青色申告	2. 白色申告
---------	---------

問5. 2008年の主たる事業からの収入(売上)はどの程度でしたか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

1. 500万円未満	3. 1,000万円~2,000万円未満	5. 3,000万円~5,000万円未満
2. 500万円~1,000万円未満	4. 2,000万円~3,000万円未満	6. 5,000万円以上

問6. 2008年の主たる事業からの所得(利益)はどの程度でしたか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

1. 赤字を計上	3. 100万円~300万円未満	5. 500万円~1,000万円未満
2. 0円~100万円未満	4. 300万円~500万円未満	6. 1,000万円以上

問7. 主たる事業以外の収入はありますか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

1. 主たる事業以外に収入がある	⇒問7-1へ
2. 主たる事業以外の収入はない	⇒問8へ

問7-1. 問7で、「1. 主たる事業以外に収入のある」と答えた方にお伺いします。

2008年の主たる事業以外の所得(利益)はどの程度でしたか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。
(主たる事業以外の所得:他の事業による所得(利益)、他の事業者の従業員として得た給与所得など)

- | | | |
|---------------|------------------|--------------------|
| 1. 赤字を計上 | 3. 100万円～300万円未満 | 5. 500万円～1,000万円未満 |
| 2. 0円～100万円未満 | 4. 300万円～500万円未満 | 6. 1,000万円以上 |

問7-2. 「主たる事業以外の所得」の種類は何ですか。当てはまるもの全てをお答え下さい(複数回答可)。

- | | |
|------------------------|----------|
| 1. 事業所得(「主たる事業」とは別の事業) | 3. 不動産所得 |
| 2. 給与所得 | 4. その他 |

問7-3. 主たる事業以外の事業(従たる事業)の業種は何ですか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

- | | | |
|-----------|--------------|---------------------------------|
| 1. 農林業・漁業 | 6. 不動産取引・代理業 | 11. 医師・弁護士・税理士等の資格業
(具体的に:) |
| 2. 建設業 | 7. 卸売業 | 12. その他のサービス業 |
| 3. 製造業 | 8. 小売業 | 13. それ以外の業種 |
| 4. 運輸業 | 9. 飲食業 | |
| 5. 不動産賃貸業 | 10. 宿泊業 | |

問8. 事業主ご自身と生計を共にしている方で、収入を得ている方はいますか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 収入を得ている者がいる(_____人) | 2. 収入を得ている者はいない |
|-------------------------|-----------------|

Ⅱ. 家族従業員についてお伺いします

問9. 家族従業員についてお伺いいたします。

- ①青色申告者で家族従業員がいる方は4ページ<青色申告の方>をご記入のあと、問10にお進み下さい。
- ②白色申告者で家族従業員がいる方は5ページ<白色申告の方>をご記入のあと、問10にお進み下さい。
- ③家族従業員がいない方は、問10にお進み下さい。

<青色申告の方>

家族従業員がいる方は、以下の表にご記入下さい。

家族従業員数計 _____人												
	通し 番号	続柄 (事業主ご自身 から見た関係)	年齢	共同経営者 (○を記入)	事業主の後継者		給与支払いの有無 (ある場合は一年間 のおおよその金額)	青色事業専従者 への該当の有無	大体の労働時間	中小企業退職金 共済制度への加入 状況	特定退職金共済 制度への加入 状況	主たる事業か 従たる事業か (複数事業を 経営している 場合)
					後継者 (○を記入)	後継者の場合、他の 事業者での勤務経験 (有:○、無:×)						
うち、事業主ご自身と生計を同じに している家族従業員 (全員分の記入をお願いします)	①	1. 配偶者 2. 子供 3. 父母 4. その他	歳				1. 無給 2. 有給 (万円)	1. 有 2. 無	1. 事業主ご自身と同じ 2. 事業主ご自身以上 3. 事業主ご自身の半分 4. ほんの少し	1. 加入 2. 未加入	1. 加入 2. 未加入	1. 主たる事業 2. 従たる事業
	②	1. 配偶者 2. 子供 3. 父母 4. その他	歳				1. 無給 2. 有給 (万円)	1. 有 2. 無	1. 事業主ご自身と同じ 2. 事業主ご自身以上 3. 事業主ご自身の半分 4. ほんの少し	1. 加入 2. 未加入	1. 加入 2. 未加入	1. 主たる事業 2. 従たる事業
	③	1. 配偶者 2. 子供 3. 父母 4. その他	歳				1. 無給 2. 有給 (万円)	1. 有 2. 無	1. 事業主ご自身と同じ 2. 事業主ご自身以上 3. 事業主ご自身の半分 4. ほんの少し	1. 加入 2. 未加入	1. 加入 2. 未加入	1. 主たる事業 2. 従たる事業
うち、事業主ご自身と生計を別にし ている従業員 (全員分の記入をお願いします)	④	1. 配偶者 2. 子供 3. 父母 4. その他	歳				1. 無給 2. 有給 (万円)		1. 事業主ご自身と同じ 2. 事業主ご自身以上 3. 事業主ご自身の半分 4. ほんの少し	1. 加入 2. 未加入	1. 加入 2. 未加入	1. 主たる事業 2. 従たる事業
	⑤	1. 配偶者 2. 子供 3. 父母 4. その他	歳				1. 無給 2. 有給 (万円)		1. 事業主ご自身と同じ 2. 事業主ご自身以上 3. 事業主ご自身の半分 4. ほんの少し	1. 加入 2. 未加入	1. 加入 2. 未加入	1. 主たる事業 2. 従たる事業
	⑥	1. 配偶者 2. 子供 3. 父母 4. その他	歳				1. 無給 2. 有給 (万円)		1. 事業主ご自身と同じ 2. 事業主ご自身以上 3. 事業主ご自身の半分 4. ほんの少し	1. 加入 2. 未加入	1. 加入 2. 未加入	1. 主たる事業 2. 従たる事業

→ 表中に記載の方以外に事業主が後継者として考えている方がいらっしゃる場合、その方の年齢、具体的属性(サラリーマンなど他で働いている子供、家族以外の従業員、取引先のオーナー等)をご記入下さい。

年齢	才	属性	
----	---	----	--

＜白色申告の方＞

家族従業員がいらっしゃる方は、以下の表にご記入下さい。

家族従業員数計 _____ 人											
	通し 番号	続柄 (事業主ご自身 から見た関係)	年齢	共同経営者 (○を記入)	事業主の後継者		給与支払いの有無 (ある場合は一年間 のおおよその金額)	大体の労働時間	中小企業退職金 共済制度への加 入状況	特定退職金共済 制度への加入 状況	主たる事業か従たる事 業か (複数事業を経営 している場合)
					後継者 (○を記入)	後継者の場合、他の 事業者での勤務経験 (有：○、無：×)					
(全員分の記入をお願いします) うち、事業主ご自身と生計を同じに している家族従業員	⑦	1. 配偶者 2. 子供 3. 父母 4. その他	歳					1. 事業主ご自身と同じ 2. 事業主ご自身以上 3. 事業主ご自身の半分 4. ほんの少し	1. 加入 2. 未加入	1. 加入 2. 未加入	1. 主たる事業 2. 従たる事業
	⑧	1. 配偶者 2. 子供 3. 父母 4. その他	歳					1. 事業主ご自身と同じ 2. 事業主ご自身以上 3. 事業主ご自身の半分 4. ほんの少し	1. 加入 2. 未加入	1. 加入 2. 未加入	1. 主たる事業 2. 従たる事業
	⑨	1. 配偶者 2. 子供 3. 父母 4. その他	歳						1. 事業主ご自身と同じ 2. 事業主ご自身以上 3. 事業主ご自身の半分 4. ほんの少し	1. 加入 2. 未加入	1. 加入 2. 未加入
(全員分の記入をお願いします) うち、事業主ご自身と生計を別にして いる従業員	⑩	1. 配偶者 2. 子供 3. 父母 4. その他	歳				1. 無給 2. 有給 (万円)	1. 事業主ご自身と同じ 2. 事業主ご自身以上 3. 事業主ご自身の半分 4. ほんの少し	1. 加入 2. 未加入	1. 加入 2. 未加入	1. 主たる事業 2. 従たる事業
	⑪	1. 配偶者 2. 子供 3. 父母 4. その他	歳				1. 無給 2. 有給 (万円)	1. 事業主ご自身と同じ 2. 事業主ご自身以上 3. 事業主ご自身の半分 4. ほんの少し	1. 加入 2. 未加入	1. 加入 2. 未加入	1. 主たる事業 2. 従たる事業
	⑫	1. 配偶者 2. 子供 3. 父母 4. その他	歳				1. 無給 2. 有給 (万円)	1. 事業主ご自身と同じ 2. 事業主ご自身以上 3. 事業主ご自身の半分 4. ほんの少し	1. 加入 2. 未加入	1. 加入 2. 未加入	1. 主たる事業 2. 従たる事業

→ 表中に記載の方以外に事業主が後継者として考えている方がいらっしゃる場合、その方の年齢、具体的属性(サラリーマンなど他で働いている子供、家族以外の従業員、取引先のオーナー等)をご記入下さい。

年齢		才	属性	
----	--	---	----	--

Ⅲ. 共同経営者の有無などについてお伺いします

(問 10 は、全員の方にお伺いします。)

問10. 事業主ご自身の御家族で従業員の方、あるいは御家族ではないが事業主ご自身とご一緒に働いている方の中に、共同で事業経営を行っている(共同経営者である)方はいますか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

1. 共同経営者がいる ⇒問 10-1 へ

2. 共同経営者はいない ⇒問 11 へ

問10-1. 問 10 で、「1. 共同経営者がいる」と答えた方にお伺いします。

その方を「共同経営者である」と考える理由は何ですか。当てはまるもの全てをお答え下さい(複数回答可)。

1. ご自身と共同経営者とが、同一の事業について、それぞれ事業所得や不動産所得を税務署に申告しているから
2. ご自身と共同経営者とが、それぞれ各種免許や資格等(営業免許、許可や税理士の資格等)を持って事業に従事しているから
3. ご自身と共同経営者とが、共同名義で事業資金の借入れを行っているから
4. ご自身と共同経営者とが、それぞれ自分の名義で同一の事業に必要な資金の借入れを行っているから
5. ご自身の名義で事業資金の借入れを行っているが、共同経営者が連帯保証をしているから
6. ご自身と共同経営者とが協同で取引(仕入れ等)を行っているから。
7. 別の事務所や支店の経営を任せているから
8. その他(具体的に)

Ⅳ. 事業主ご自身の事業承継についてお伺いします

(問 11 は、全員の方にお伺いします。)

問11. 事業主ご自身が営んでいる主たる事業は、先代から承継した事業ですか、それともご自身で起こした事業ですか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

1. 先代から承継した事業(現在____代目) ⇒問 12 へ

2. ご自身で起こした事業 ⇒問 21 へ

問12. 問 11 で「1. 先代から承継した事業」と答えた方にお伺いします。

先代から見て、事業主ご自身と先代はどのような関係(続柄)ですか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

1. 配偶者

4. その他の親族(具体的に:)

2. 実の子供

5. 先代の事業の従業員(血縁関係はない)

3. 娘婿、ご子息の配偶者

6. その他(具体的に:)

問13. 事業主ご自身は何をきっかけとして、先代の事業を承継する後継者であると認識しましたか。当てはまるもの全てをお答え下さい(複数回答可)。

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1. 先代に自分以外の子供がいなかったこと | 7. 先代の相続の発生 |
| 2. 先代から自分が後継者であると指名されたこと | 8. 事業のために個人資産を担保として提供したこと |
| 3. 先代の事業を多少なりとも手伝うようになったこと | 9. 事業目的の借入れの保証人になったこと |
| 4. 他の働き先をやめ、今の事業に専ら従事するようになったこと | 10. 先代の事業に関わる各種免許や資格等(営業免許、許可や税理士の資格等)を取得したこと |
| 5. 先代の事業の従業員として働きはじめたこと | 11. その他 () |
| 6. 先代の存命中に事業用の土地や建物を贈与又は譲渡してもらったこと | |

問14. 事業主ご自身が先代の後継者として認識した後から実際の承継まで、どの程度の期間事業に従事しましたか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

- | | |
|------------|---|
| 1. 1～5年 | 4. 15年～20年 |
| 2. 6～10年 | 5. 21年以上～ |
| 3. 11年～15年 | 6. 後継者としての従事期間はなかった(先代から承継してから初めて事業に従事した) |

問15. ご自身の事業承継の経験を振り返って、どのような行為をもって先代からの事業承継が完了したと考えましたか。当てはまるもの全てをお答え下さい(複数回答可)。

- | |
|--|
| 1. 先代が廃業届を提出し、ご自身の開業届を提出すること |
| 2. 各種免許等(営業免許、許可等)の取得又は名義をご自身に変更すること |
| 3. 主な事業用資産(事業所がある土地の所有権等)を先代よりご自身が取得すること |
| 4. ご自身が事業のために個人資産を担保として提供すること |
| 5. ご自身が事業目的の借入れの保証人になること |
| 6. 先代の財産の相続 |
| 7. その他 () |

問16. 事業承継に際して、事業用の土地や建物の所有権の名義の書換えを行ったのはどの段階ですか。当てはまるもの全てをお答え下さい(複数回答可)。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 先代の廃業届及びご自身の開業届を提出した段階 |
| 2. 各種免許等(営業免許、許可等)の名義の書き換えを行った段階 |
| 3. 事業のために個人資産を担保として提供した段階 |
| 4. 事業目的の借入れの保証人になった段階 |
| 5. 先代が死亡した段階(相続・遺贈により財産を受け継いだケース) |
| 6. 事業用の資産といえるような資産は特にない |
| 7. 未だ先代の名義のままである |
| 8. その他 () |

V. 後継者への事業承継についてお伺いします

(問21は、全員の方にお伺いします。)

問21. 現在の事業(主たる事業)について、後継者への事業承継を考えていますか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

1. 承継を考えている ⇒問22へ

2. 承継は考えていない ⇒問25へ

問22. 問21で「1. 承継を考えている」と答えた方にお伺いします。

ご自身の事業を承継する後継者を、どのようにして確定されますか(確定されましたか)。当てはまるもの全てをお答え下さい(複数回答可)。

1. ご自身が後継者の指名を行うこと
2. 後継者本人が、後継者となることに了承すること
3. 副業のような形でも、後継者をご自身の事業に従事すること
4. 後継者が、ご自身の事業に専従すること(他に副業を行っていないこと)
5. 主な事業用資産(土地、建物)を後継者に移転させること
6. 後継者が、事業のために個人資産を担保として提供すること
7. 後継者が、事業目的の借入れの保証人になること
8. 事業に関わる各種免許や資格等(営業免許、許可や税理士の資格等)を取得すること
9. その他()

問23. どのような行為をもって、後継者への事業承継が完了したと考えますか。当てはまるもの全てをお答え下さい(複数回答可)。

1. 後継者の開業届及びご自身の廃業届を提出すること
2. 後継者が、各種免許等(営業免許、許可等)を取得又は名義の変更を行うこと
3. 取引口座の名義を後継者に変更すること
4. 主な事業用資産(事業所がある土地の所有権の所有権等)を後継者が取得すること
5. 後継者が、事業のために個人資産を担保として提供すること
6. 後継者が、事業目的の借り入れの保証人となること
7. その他()

問24. 後継者(候補)は事業主ご自身のご家族内にいますか。以下よりお答え下さい(○は1つ)

1. 家族内に後継者(候補)がいる ⇒問24-1へ

2. 家族内に後継者(候補)はいない ⇒問25へ

問24-1. 事業主ご自身は後継者に対し、事業の運転資金に充てることのできる現預金等を十分に相続させる予定ですか。以下よりお答え下さい(○は1つ)

1. 十分な現預金等を相続させる予定である
2. 十分な現預金等を相続させることができないと思う

VI. 小規模企業共済制度についてお伺いします

(問 25 は、全員の方にお伺いします。)

問25. 事業主ご自身は、小規模企業共済制度についてご存知でしたか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

- | | |
|--|-------------------|
| 1. 加入しているので知っている (_____ 年間加入) ⇒問 25-1 へ | 3. 知らなかった ⇒問 27 へ |
| 2. 知っているが加入していない ⇒問 25-2 へ | |

【小規模企業共済制度とは】

- ・概要: 小規模企業の個人事業主・会社等の役員が廃業・退職した場合に、生活の安定・事業再建等の資金を準備する制度です。
- ・特色: 掛け金は全額所得控除、共済金は退職所得・公的年金等の雑所得扱いとなります。また、加入者(一定の資格者)は、納付した掛け金の範囲内で貸付が受けられます。
- ・加入資格: ①常時使用する従業員の数が 20 人以下(商業・サービス業は 5 人以下)の個人事業主、会社役員。
②事業に従事する組合員の数が 20 人以下の企業組合の役員。
③常時使用する従業員の数が 20 人以下の協業組合の役員。

問25-1. 問 25 で「1. 加入しているので知っている」と答えた方にお伺いします。

事業主ご自身が小規模企業共済制度に加入した理由は何ですか。当てはまるもの全てをお答え下さい(複数回答可)。

- | |
|---|
| 1. 税制上のメリット(掛け金の所得控除等)がある積立制度だから |
| 2. 退職金代わりになるから。 |
| 3. 低利の融資制度である、共済契約者貸付制度を利用することができるようになるから |
| 4. 公的制度で安心だから |
| 5. その他 (_____) |

回答後⇒問 26 へ

問25-2. 問 25 で「2. 知っているが加入していない」と答えた方にお伺いします。

事業主ご自身が小規模企業共済制度に加入していない理由は何ですか。当てはまるもの全てをお答え下さい(複数回答可)。

- | |
|---|
| 1. 小規模企業共済制度を知らなかったから |
| 2. 事業主でないと加入できず、次の後継者への承継までの期間を考えると、加入期間が短く、メリットを感じないから |
| 3. 受取共済金額が少なく、制度として魅力がないから |
| 4. 税制上のメリットについて魅力を感じないから。 |
| 5. 自分で引退後の資金の手当てを行うことができると思われるから。 |
| 6. 制度の将来に不安を感じるから |
| 7. 掛金を納付するだけの余裕が持てないから |
| 8. 現在は加入していないが、今後加入を予定している |
| 9. その他 (_____) |

問26. 現行の小規模企業共済制度は、個人事業主については事業主本人しか加入することができない制度ですが、事業主ご自身の後継者も加入できるとしたら、後継者に対して加入をすすめますか。以下よりお答え下さい(○は1つ)。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 加入をすすめる ⇒問 26-1 へ | 3. わからない ⇒問 27 へ |
| 2. 加入をすすめない ⇒問 26-2 へ | 4. 自分には後継者はいない ⇒問 27 へ |

問26-1. 問 26 で「1. 加入をすすめる」と答えた方にお伺いします。

後継者に対して小規模企業共済制度への加入をすすめる理由は何ですか。当てはまるもの全てをお答え下さい(複数回答可)。

- | |
|--|
| 1. 税制上のメリット(掛け金の所得控除等)がある積立制度だから
2. 後継者の段階から加入することで、より長期に渡って積み立てることが可能となり、掛金の総額を増やすことができるから
3. 後継者の段階から、事業をやめたときに備えることができるから
4. 事業承継時に、低利の融資制度である共済契約者貸付制度を利用することができるようになるから
5. 公的制度で安心だから
6. その他 () |
|--|

回答後⇒問 27 へ

問26-2. 問 26 で「2. 加入をすすめない」と答えた方にお伺いします。

後継者に対して小規模企業共済制度への加入をすすめない理由は何ですか。当てはまるもの全てをお答え下さい(複数回答可)。

- | |
|--|
| 1. 受取共済金額が少なく、制度として魅力がないから
2. 税制上のメリットについて魅力を感じないから
3. 後継者が事業を承継しない可能性が否定できないから
4. 事業承継を行った後に加入すれば十分だから
5. 後継者が自分で引退後の資金の手当てを行うことができると思われるから
6. 制度の将来に不安を感じるから
7. 後継者は掛金を納付するだけの余裕は持てないと思われるから
8. その他 () |
|--|

問27. 後日、本調査にご協力いただいた方の中から何名かの方に連絡を取らせていただき、インタビュー形式で詳しくお話をお伺いしたいと考えております。

インタビューの可否、およびご協力頂ける場合には、ご連絡先をご記入頂ければ幸いです。

①インタビューの可否	1. インタビューを受けてもよい	2. インタビューは受けられない
②電話番号・FAX	電話番号： _____ () _____ F A X： _____ () _____	
③Eメール	_____	

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。